

## 教育雑誌特集記事一覧 [2014年8月号]

号 数	特 集 記 事	筆 者
教育ジャーナル	特集 幼保小連携 ・子どもたちの育ちを、ありのままに、小学校生活に迎え入れるために 事例に学ぶ スタートカリキュラムに必要なこと 第2特集 学校を訪ねて@つくば市 ・近未来を生きる子どもに必要な力とは つくば市立春日学園の思考力を育てる授業	渡辺 研  和田 成
教育	特集1 私の「教育の民主主義宣言」を ・一人ひとりの「教育の民主主義」体験を発信しよう ・【リレートーク】「教育の民主主義」 ・若手教師の教育現場からの発信 ・中堅・ベテラン教師の教育現場からの発信 ・各方面・各職種からの発信 ・3人の教育研究者の「教育の民主主義／非民主主義」原体験 ・教科研講座を読んで、そこに「教育の民主主義」のすがたを見る ・現代日本の抑圧構造と民衆民主主義 ・総動員体制としての安倍「教育改革」 ・教育の場に民主主義と「人間」を取り戻す 特集2 いま、教育の争点に挑む ・安倍内閣の教育破壊に抗して ・教育の震災復興—その現状と課題 ・若者の政治参加と社会運動 ・誰のなかにも息づく「教育の民主主義」を呼び起こす ・「戦後日本の教育と教育学」について	教育科学研究会常任委員会  佐藤 舞 他 立川 明 他 藤島 和也 他 中村 清二 他 荒巻 りか 他  中西新太郎 中田 康彦 佐貫 浩  中田 康彦 佐藤 修司 南出 吉祥 宮下 聡 佐藤 広美
道徳教育	特集 授業を貫く「テーマ発問」を提案する ・道徳授業の発問を変える「テーマ発問」とは ・Q&A／7つのQで「テーマ発問」を読み解く 【資料分析にみる「場面発問」と「テーマ発問」】 ・小学校低学年 テーマ発問につなげる資料吟味 ・小学校中学年 「友情」に対する認識の「深化」をならうなら、テーマ発問で… ・小学校高学年 資料のもつテーマを感じとる資料分析 ・中学校 生徒の視点に立ち、ねらいに着実に迫る資料分析への一考察 【場面発問orテーマ発問？ 定番資料で授業づくり】 ・小学校低学年 「はしにうえのおおかみ」 ・小学校低学年 「二羽のことり」 ・小学校中学年 「お母さんの請求書」 ・小学校中学年 「花さき山」 ・小学校高学年 「うばわれた自由」 ・小学校高学年 「手品師」 ・中学校 「人間であることの美しさ」 ・中学校 「三六五×十四回分のありがとう」 【実践／「テーマ発問」を生かした道徳授業】 ・小学校低学年 学級力を高める、児童の問題意識を重視した道徳の時間 ・小学校中学年 経験をもとに話し合う道徳の時間 ・小学校中学年 「おおきなテーマ」と「資料を中心としたテーマ」から子どもの学びの主体性を育む ・小学校高学年 子どもと教師が創作するテーマ発問 ・中学校 「生命の尊さ」を考える授業 【書評】	永田 繁雄 和井内良樹  矢作 信行 中澤 英治 谷口 雄一 堀内 俊吾  勝又 明幸 佐藤 倫子 庄子 寛之 竹井 秀文 野村 宏行 加藤 宣行 甲斐 任 岡田 幸博  井上 貴子 藤井 隆之 幸坂 創平 遠藤 信幸 藤田 良子

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「J-POPで創る中学道徳授業」(柴田 克著)</li> <li>・「家庭や学級で語り合う スマホ時代のリスクとスキル」(竹内和雄著)</li> </ul>	押谷 由夫 三宅 健次
授業力&学級統率力	<p><b>特集 学級モラル向上！「私たちの道徳」活用術</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育＝古今東西「あの賢人の一言」●究極の箴言・座右の銘はこれだ！</li> </ul> <p><b>【道徳教育－そもそも論の“ここ”に突っ込み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モラル意識は何歳ごろ形成されるのか</li> <li>・日常生活の中で形成されるモラルとは</li> <li>・生き方モデルは指針となりうるか</li> </ul> <p><b>【「私たちの道徳」登場の「偉人＝生き方モデル」の傾向を読む】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き方の選択肢の幅を広げる「偉人」の平準化と多層化</li> <li>・社会がどこへ向かうのかを考え、人がもつ多面性を大切に</li> <li>・今改めて伝えたい人物とエピソード</li> <li>・誰かのために「世界」を切り拓く！</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偉人選択にみる道徳的価値の不易と流行</li> </ul> <p><b>【「私たちの道徳」を読んで→思ったより「〇〇だ！」】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったより「よくできた教科書のモデルだ！」</li> <li>・(思ったより)模索は始まったばかりである</li> <li>・期待どおりのいいできばえ</li> <li>・思ったより厚くてカタイ？</li> <li>・「教科・道徳」の補助としてなら、思ったより使い道がありそう</li> <li>・キーワードが強調されているところがよい</li> </ul> <p><b>【教科「道徳」で学校改革－校内研修の焦点はどこか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【「私たちの道徳」に見る教科道徳</li> <li>・「道徳」の授業を根底から再構築する</li> <li>・読みもの資料の発問研究と資料(教材)選び</li> <li>・「どの学校でも」「どの教員でも」できる能率的・効果的な研修の在り方</li> </ul> <p><b>【「私たちの道徳」の効果的使い方ヒント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物資料－資料の中の価値観で繋ぐ！</li> <li>・ワークシート記入資料－ワークシートの活用～「書くことの必然性がカギ」～</li> <li>・考えたり話し合ったりする活動－「授業からモラルへ」への鍵は葛藤と発達</li> <li>・新聞づくり活動－「私たちの道徳」を新聞づくりに活用する</li> </ul> <p><b>【道徳苦手先生の疑問・質問に達人が答える】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的知識と実践は乖離していいのか</li> <li>・数量的評価はなしの主張の根拠とは</li> <li>・道徳的価値→価値観の押し付けにならないか</li> <li>・子どもの資料との道徳的意識のズレを考える</li> </ul> <p><b>【学級のモラル形成→教師が示す基準とは】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウソをつかない</li> <li>・ズルをうまない</li> <li>・いじめを見逃さない</li> <li>・どんなことをしたら「叱る」か</li> </ul> <p><b>【集団の中でのモラルとルール形成のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻－遅刻の指導は、遅れた時のソーシャルスキルの指導の場にする</li> <li>・忘れ物－忘れ物への対応で学力を保障し、クラスをまとめる</li> <li>・けんか－けんかへの対応で示す規範意識のポイント</li> <li>・人のせいにする子への対応で示す規範意識のポイント</li> <li>・ウソをつく－子供のウソ。闘う時を見極める</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・謝罪しようとしないう教師は、毅然とした態度で冷静に接すること。そして、指導の後はそのことを忘れること</li> <li>・決まりを守らない－ポイントは、趣意説明、ぶれない、自己決定</li> <li>・災害時助け合い－基準が明確なことで注意をし、正直さをほめる</li> </ul>	梶田 叡一 他  岩佐 信道 植田 和也 荒木 紀幸  片上 宗二 伊藤 裕康 久野 歩 乾 正学 鈴木 恒太  貝塚 茂樹 上杉 賢士 近藤 精一 土田 雄一 加藤 宣行 河田 孝文  八巻 寛治 岩切 洋一 倉光信一郎 後藤 喜朗  佐藤 幸規 板垣 健 野本 玲子 高原 健  林 泰成 押谷 由夫 渡邊 達生 新宮 弘識  長野 藤夫 小林 義典 小林 輝良 東風 安生  高橋 祥二 鈴木 隆夫 藤井 達也 今井 淳 千明 浩己 甲本 卓司 岩田 史朗 田村 治男

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さぼる子への対応で示す規範意識のポイント</li> <li>・乱暴するー暴力を振るってしまう子にも理由がある。のぞむ行動を教えほめることで子どもが変わる</li> </ul> <p>【「私たちの道徳」の読み方・使い方のツボ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学1年 いつでも、何度でも～心の学びはじめ～</li> <li>・小学2年 「はしの上のおおかみ」をどう深めるか？</li> <li>・小学3年 かるたなどの教材と連動させよ。大切なことを繰り返す扱おう</li> <li>・小学4年 自他の多様な考えを知ることが重要である</li> <li>・小学5年</li> <li>・小学6年 卒業というステップにむけての「私たちの道徳」</li> <li>・中学1年 「私たちの道徳」私ならこうする！</li> <li>・中学2年 「私たちの道徳」活用法～道徳の時間との関連、家庭との連携の視点から～</li> <li>・中学3年 生徒の心に沁み入る「私たちの道徳 中学校」～学習指導要領を踏まえた指導の工夫と活用</li> </ul>	<p>平松 英史 前田 吉法</p> <p>大月ちとせ 末本 裕喜 根本 直樹 吉谷 亮 熊谷 敬子 龍神 美和 永吉 洋子 江口 彰子 松島 千尋</p>
児童心理	<p>特集 子どものレジリエンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジリエンスのある人、ない人ー人々の「立ち直り力」を考える</li> </ul> <p>【レジリエンス（立ち直り力）とは何か】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジリエンス研究の現在</li> <li>・“自分”のとらえ方（自己概念）とレジリエンス</li> <li>・I CAN（自己効力感）とレジリエンス</li> <li>・環境要因（I HAVE Factor）とレジリエンス</li> </ul> <p>【子どものレジリエンス 二つの研究紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジリエンスを培うものーハワイ・カウアイ島での698人の子どもの追跡調査から</li> <li>・逆境を乗り越えるための7つのレジリエンスー臨床面接からの知見</li> <li>・非日常的な出来事とその後の変化ー阪神淡路大震災の体験児童のストレス</li> <li>・からだの病気と抵抗力・回復力</li> </ul> <p>【内なる力はどうかー危機を乗り越えた当事者から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりからの立ち直り</li> <li>・自己愛が強い子どもを育むー虐待・非行の体験から得た教訓</li> </ul> <p>・レジリエンスなチームや組織を生み出すリーダーシップ</p> <p>【子どものレジリエンスを高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスマネジメントなチームや組織を生み出すリーダーシップ</li> <li>・ソーシャルスキル・トレーニングを用いて</li> <li>・小学校の現場での実践ーワークブックの作成</li> </ul> <p>【レジリエンスな子どもを育てる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛され、愛することのできる子どもに</li> <li>・友だちとのかかわりの中で育つ子</li> <li>・多様な体験をもつ子</li> <li>・目標（志）をもつ子</li> </ul>	<p>加藤 諦三</p> <p>仁平 義明 岡田 努 館川宏美・中村亮 河野 荘子</p> <p>松嶋 秀明 奥野 光 小花和Wright尚子 満留 昭久</p> <p>金馬 宗昭 加藤 秀視 金井 壽宏</p> <p>富永 良喜 西野美佐子 上島 博</p> <p>村本 邦子 西田千寿子 松田 恵示 池田 誠喜</p>
月刊学校教育相談	<p>特集1 夏休みだからできる相談的なかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さりげなく、気軽に、子どもともっと仲良しに</li> <li>・「夏休みクラス散歩」 生徒のことは生徒に聞く</li> <li>・夏休み中のNHK作戦で不登校を克服する</li> <li>・心を解き放つ夏のひとときを生徒たちとつくるー「書の力」</li> </ul> <p>特集2 「質問」の技を磨き、相談の質を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心を揺さぶるパラドックス的質問の技</li> <li>・「しつもん」で引き出す子どもの力</li> <li>・カードを引いてソリューション</li> <li>・気質に合わせた質問で、短時間で心地よく深まる相談</li> </ul>	<p>松下 崇 原口 和博 相原 孝之 千葉久美子</p> <p>金山 健一 船渡川成子 半田 一郎 長野 実</p>
月刊生徒指導	<p>特集 “不易”と“流行”をバランスよく いま求められる教師の力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・＜座談会＞今求められる教員のスキル</li> <li>・教員に求められる力の変遷</li> </ul>	<p>大塚一雄 他 大塚 一雄</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任・若手のうちに身につけておきたい力</li> <li>・【完全保存版】「力をつける」ための時間術&amp;仕事術</li> <li>・「聴く」ことから始まる保護者との関係づくり</li> </ul>	井手 亮太 山本 純人 小沼 豊
総合教育技術	<p>総力大特集 1年間で唯一のチャンスは、こう生かす リーダー力と教師力を高める夏休み！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに学校力を向上させるためにリーダーは何をし、何をさせるべきか</li> <li>【Part 1】夏こそリーダー力を磨く！ リーダー・ミドルリーダーがすべきこと</li> <li>・提言① 様々な場で吸収したことを“見える化”し、教職員にも学ぶ楽しさを広げる</li> <li>・提言② 子どもがいないからこそ訓練を徹底し学校の危機管理体制の立て直しをするべき</li> <li>・提言③ 夏休みは、相互理解から始まる「協働」の仕組みをつくる絶好の機会</li> <li>・リーダー・ミドルリーのための研究会・研修会ガイド</li> <li>【Part 2】若手・中堅現場教師がすべきこと</li> <li>・提言①授業力向上 教科・単元のねらいに即した言語活動を徹底し、授業力の向上を実現             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校算数 ねらいに即した言語活動を考え、適用問題、評価問題の作成から始める</li> <li>・中学校国語 校長会で相談をしてミドルリーダーを指名よい授業実践を地域で共有、敷衍していく</li> <li>・中学校数学 2学期の各教材で何を聞くかを考えておき子どもに任せてみることも大切</li> </ul> </li> <li>・提言②学級経営 夏休み中に一人一人の手立てを考え2学期からヒドゥンカリキュラムを使うべき</li> <li>・提言③教室環境の整備 秩序を可視化し、学校生活への参加意欲を高める教室環境の整備</li> <li>・現場教師のための研究会・研修会ガイド</li> </ul> <p>特集2 いまさら聞けない 管理職のためのパソコンスキルアップ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップ①Excel編 基本機能と小わざを使いこなして表作成や計算処理を効率化する</li> <li>・スキルアップ②ワープロソフト編 使い慣れたWordと一太郎もワンポイントテクニックでさらに効率的に</li> <li>・スキルアップ③学校ホームページ編 学校からの情報発信ツールとしてポイントを押さえたホームページを</li> <li>・スキルアップ④Q&amp;A編 いまさら人に聞けない学校ICTの基礎知識</li> <li>・提言インタビュー LINEにも触れてみて、管理職として必要な情報マネジメント力を身につける</li> </ul>	堀竹 充 玉置 崇 星 幸広 佐藤 晴雄 水戸部修治 笠井 健一 富山 哲也 水谷 尚人 多賀 一郎 松永 昌幸 石原 一彦
実践障害児教育	<p>特集 一人ひとりのニーズに対応する インクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様ではない交流で共に育つ学校を目指して一支援籍交流と校内交流を生かした取り組み</li> <li>・ICT利用と障害のある児童生徒への合理的配慮</li> <li>・インクルーシブ教育システムを考えてみよう</li> <li>・基礎的環境整備に基づいて合理的配慮を検討・提供する</li> <li>・インクルーシブ教育システムの構築に向けて</li> <li>・高等学校と併設した環境で互いを認め合う交流</li> <li>・子どもの多様性を生かし、学び合い、共に育つための工夫</li> <li>・どの子どもも同じ空間で、同じ仲間として学び合う日を目指して</li> <li>・「交流及び共同学習」における協同学習の可能性</li> <li>・保護者が考える「合理的配慮」ー認知症の我が子に代わって…</li> <li>・大人になって思う「こんな配慮がほしかった」</li> <li>・これからの発達障害と合理的配慮ー個々のニーズを具体的支援へと結びつけるために</li> <li>・授業を振り返り改善するチェックリストの活用</li> <li>・教師も子どもも「わかる・できる・結果が見える」</li> <li>・教材共有ネットワークの構築と活用で共に学ぶ学習内容を工夫する</li> <li>・小・中学校と協働で取り組んだ「わかる」授業づくり</li> <li>・地域の子どもは地域で育てる みんなが支え合う地域づくり</li> <li>・キャリア発達を促す「連続した多様な学びの場」</li> </ul>	服部 純一 近藤 武夫 荒川 智 倉部 務 長澤 正樹 藤井 広子 村中 智彦 三長 仁 涌井 恵 古田島惠津子 平澤 紀子 高橋 浩 木村志津恵 他 田幸 康宏 菊地 一文
月刊教職研修	<p>特集1 夏休みに備えたスマホ、ネット指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ーネットトラブルを回避するために、学校・家庭ですべきことは</li> <li>・新しい生徒指導課題としてのスマホ、ネット指導</li> <li>・夏休みは要注意「子どものネット依存」</li> <li>・子どもたちを取り巻くネットの危険</li> <li>・子どもが「罪」に問われる可能性がある書き込み例</li> <li>・関係不安からのスマホ依存</li> </ul>	藤川 大祐 遠藤 美季 高橋 暁子 神田 芳明 土井 隆義

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県刈谷市の取り組みから考える 日本のスマホ対策のこれから</li> <li>・家庭とともに取り組むスマホ指導</li> <li>・【資料】学校で夏休み前に指導すべきこと</li> <li>・【資料】スマホ、ネットの使用ルール</li> </ul> <p>特集2 佐賀県武雄市「官民一体型学校」のインパクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ武雄で官民一体型学校か</li> <li>・藤原和博氏インタビュー 「官民一体型学校」のならいは何か</li> <li>・「花まる学習会」とはどんな塾か</li> <li>・今後、どのようなことに注視しなければならないのか</li> </ul>	<p>竹内 和雄 加納 寛子 原 克彦 遠藤 美季</p> <p>石渡 嶺司</p> <p>石渡 嶺司 葉養 正明</p>
初等教育資料	<p>特集I 探究と協同の授業づくりー総合的な学習の時間を中心に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【総説】探究的で協同的な授業づくりと21世紀の社会</li> </ul> <p>[第1部]自ら学び、共に学ぶ子供の育成ー探究・協同</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【論説1】探究的に学ぶことの価値</li> <li>・【論説2】探究する人こそが求められている</li> <li>・【論説3】協同的に学ぶことの価値</li> <li>・【論説4】親和動機が達成動機を高める</li> </ul> <p>[第2部]総合的な学習の時間における探究と協同の授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【論説】探究のプロセスの質を高める協同的な学習</li> <li>・【事例1】ずれやギャップについて話し合い、課題を設定する授業づくり</li> <li>・【事例2】複数の視点から検討し、課題の質を高めていく授業づくり</li> <li>・【事例3】多くの情報を多様な方法で幅広く収集する授業づくり</li> <li>・【事例4】異なる視点からの情報を意図的に収集する授業づくり</li> <li>・【事例5】思考ツールを活用して質的な情報を整理・分析する授業づくり</li> <li>・【事例6】量的な情報を統計的な手法で整理・分析する授業づくり</li> <li>・【事例7】相手意識や目的意識を明らかにして発信する授業づくり</li> <li>・【事例8】文章表現することを通して、学習活動をリフレクションする授業づくり</li> </ul> <p>特集II 学習指導要領における指導のポイント[算数]</p> <p>ー算数科における授業力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【論説】校内で算数の研究授業をする意義とこれからの授業</li> <li>・【事例1】評価結果から指導を見つめ直す授業改善</li> <li>・【事例2】学校力向上は授業力向上から</li> <li>・【事例3】ふきだしを書くことで子供の主体性を育てる</li> <li>・【事例4】「考えることが楽しい」算数の授業を目指して</li> </ul>	<p>田村 学</p> <p>藤井 千春 石川 憲一 藤村 宣之 速水 敏彦</p> <p>中野 真志 今 伸仁 中島 武史 土門くるみ 関根 史朗 後藤 竜太 近藤 修司 軽込 志重 猪瀬 恵</p> <p>笠井 健一 小沼 優子 太田 恭子 杉岡 潤 友定 章子</p>
特別支援教育研究	<p>特集 子どものストレスへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害の特性から考えてみる子どものストレスへの理解と特別支援教育</li> <li>・子どものストレスと教育的配慮</li> <li>・学校全体で行う人権教育と人間関係づくりの取組</li> <li>・生徒に寄り添う通級指導教室での取り組み</li> <li>・ストレスマネジメントの授業で人間関係スキルを育てる</li> <li>・高等部で行う心理的な安定に焦点を当てた自立活動の取り組み</li> <li>・よさを引き出し、よさが生きる場を作る</li> </ul>	<p>高木 一江 笹森 洋樹 谷岡 康男 相川 賢樹 山崎 茂雄 浅利 邦子</p>
中等教育資料	<p>特集 中学校学習指導要領実施上の課題とその改善 ③&lt;保健体育, 技術・家庭, 外国語&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校学習指導要領実施上の課題とその改善 (保健体育)</li> <li>・思考力・判断力を育成する指導の実践 (保健体育)</li> <li>・中学校学習指導要領実施上の課題とその改善 (技術・家庭 技術分野)</li> <li>・技術を評価し活用する能力と実践的な態度の育成を目指した授業実践</li> <li>・中学校学習指導要領実施上の課題とその改善 (技術・家庭科 家庭分野)</li> <li>・よりよい食事を整える力を育む学習指導の工夫</li> <li>・中学校学習指導要領実施上の課題とその改善 (外国語)</li> <li>・「読むこと」と「話すこと」を統合した言語活動の充実 (外国語)</li> </ul>	<p>佐藤 豊 札幌市立上野幌中学校</p> <p>古川 稔 出雲市立浜山中学校</p> <p>生野 晴美 佐倉市立佐倉中学校</p> <p>松浦 伸和 大仙市立大曲中学校</p>

兵庫教育	<p>特集 グローバル化の進む社会を生き抜く        ー豊かなコミュニケーション能力の育成ー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グローバル人材」とは何か～主体的選択能力の育成に向けて～</li> <li>・人と人がつながる 外国語活動を目指して～クラスで、学校で、地域で育むコミュニケーション能力の育成～</li> <li>・英語を使って、自分の考えを主体的に発信できる生徒の育成を目指して～本物に触れ、世界の風を感じる授業の創造～</li> <li>・グローバル時代の豊かな英語コミュニケーション能力の育成～葺合高校のあゆみとこれから～</li> </ul>	<p>竹内 理        神戸市立東町小学校        加古川市立浜の宮中学校        神戸市立葺合高等学校</p>
教育委員会月報	<p>特集 学校における健康診断について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における健康診断について</li> </ul>	<p>松永 夏来</p>